

子育ては誰もが

“若葉マーク”

第7回 外と家では異なる 子どもの顔 家庭生活にしんどさが 出てくるのはなぜ？



あいち障害者センター
近藤直子

こんどう なおこ／あいち障害者センター
理事長、全国発達支援通園事業連絡協議会
会長、元日本福祉大学。著書に『子どもたちに幸せな日々を』(全障研出版部)など。

るのですから、心にゆとりがもてないの
も当たり前。

夜は夜でからだが疲れているのがん
ぱりがききません。だらしなくなるし甘
えも出ます。「家庭とはそういうものだ」
と家族みんなで割り切った方が楽ですよ
ね。でも「家庭でちゃんとしつけなさ
い」という圧力がかかるとそうも言つて
おれず、毎日の家庭生活のメイン事業で
ある食事・排泄・着替え・学校準備や宿
題・就寝などで親子ともに振り回され
ことになります。

子どもは親に対しても甘えん坊になるの

が当たり前の存在です。子どもは赤ちゃん
時代、泣くとお母さんやお父さんに抱
っこしてもらいあやしてもらうことで、
親のことを大好きになってしまいますし、
自分の気持ちを親はわかってくれるだろ
うと期待して育ちます。だから先生たち
よりもずっとずっと親に甘えるのです。
いやなことはしたくないからと「イヤ」
と拒否する度合いは親の方が大きいとも
言えるのです。

そんな親の一一番の役割は、わが子に腹
を立てたり叱つたりしてはいても、あな
たのことが「大好きだ」という思いを子
どもたちに伝えることです。忙しいご家
庭間が少ないために、必要以上に親に相
手を求めてしまいがちです。

庭はせめて寝る前に「大好き」と子ども
たちをハグしてください。そして食事と
睡眠を保障して、子どもが元気であれば
オッケーと割り切りましょう。

障害のある子は夕方に 手こずることが多くて大変

このことが大好きなのに困らせてしまうの
はなぜでしょうか。園や学校でがんばっ
てきた子は家に帰るとホッとしてタガが
外れてしまいます。放課後は通常は、気
の合う相手と好きなことをして遊ぶ時
間。障害児の場合ホッとしつつ共に遊ぶ
仲間が少ないために、必要以上に親に相
手を求めてしまいがちです。

だから放課後等デイサービス事業は、
子どもがホッとしつつ、気の合う仲間と
好きなことをして遊ぶことを保障する場
として機能してほしいのです。幼児や小
学生の場合は仲間よりも、自分の好きな
ことや遊びを楽しむことが大切です。

学校の宿題はどうするの？

最近は宿題の丸つけまで親がしないと
いけない地域があるのだとか。子どもは
なんのための宿題かわからないと「やる
気」が出ません。先生方も仕事が忙しく
「学習指導要領」に縛られて苦労してい
るかもしれません。

ひとり親家庭、外国人家族、親に障害
があるご家庭等、いろいろな家庭がある
のですから、本来、宿題は少ない方が良
いのです。教育現場はそうした家庭の細
かい事情に目が向くにくいのも現実で
す。それでなくとも仕事量の多さに苦労
しているのですから。だから福祉と教育
の共同が求められるのです。「障害者自
立支援協議会児童部会」等で考え方を
学んでいます。スクールソーラー
シャルワーカーが配置されている地域も
増えてきています。ワーカー同士での学
び合いなども考えたいですね。



親も子もきょうだいたちも 家では甘えん坊でマイペース

私たちが家で過ごすのは通常は朝と夜
ですよね。朝は寝ていた状態から目覚め
る時間帯ですが、脳がしっかりと目覚め
るには一時間半はかかると言われていま
す。だから「小学生は七時までには起き
よう」と、学校から言われるのです。

児童発達支援センターでは園庭を走り 回って遊んでいるのに、夕方には帰る と、お母さんが家事をしている間に自分の 指を血が出るまで噛んでしまったり坊やに、 お母さんは悩んでいました。自由に走り 回ることができるご家庭は少ないですも のね。職員と相談して室内用ブランコや 小型トランポリンを試してみたのですが うまくいかず、自分から下りてやつぱり 指を噛んでしまいます。下りることができ ないのではと部屋にハンモックを吊る して乗せてみたら、揺れる楽しさにはま り指を噛まなくなりました。親が困った ときに、職員が「どうしたら良いか」「家 できそうなことは？」と知恵を寄せて 考えてくれるから、親は救われるのです。

学校から帰ってきたら外に飛び出して
しまい親が追いかけなくてはならない子
もいますし、夕方家事に忙しいお母さん
の足に噛みついた子もいます。お母さん

のところを尊重し付き合ってくれる指導員を
求める場合もありますが、夕方を気持ち
よく過ごすことで家庭で手こずることが
減ると、親もきょうだいも家庭でくつろ
ぎやすくなります。

学校の宿題はどうするの？

このところを尊重し付き合ってくれる指導員を
求める場合もありますが、夕方を気持ち
よく過ごすことで家庭で手こずることが
減ると、親もきょうだいも家庭でくつろ
ぎやすくなります。